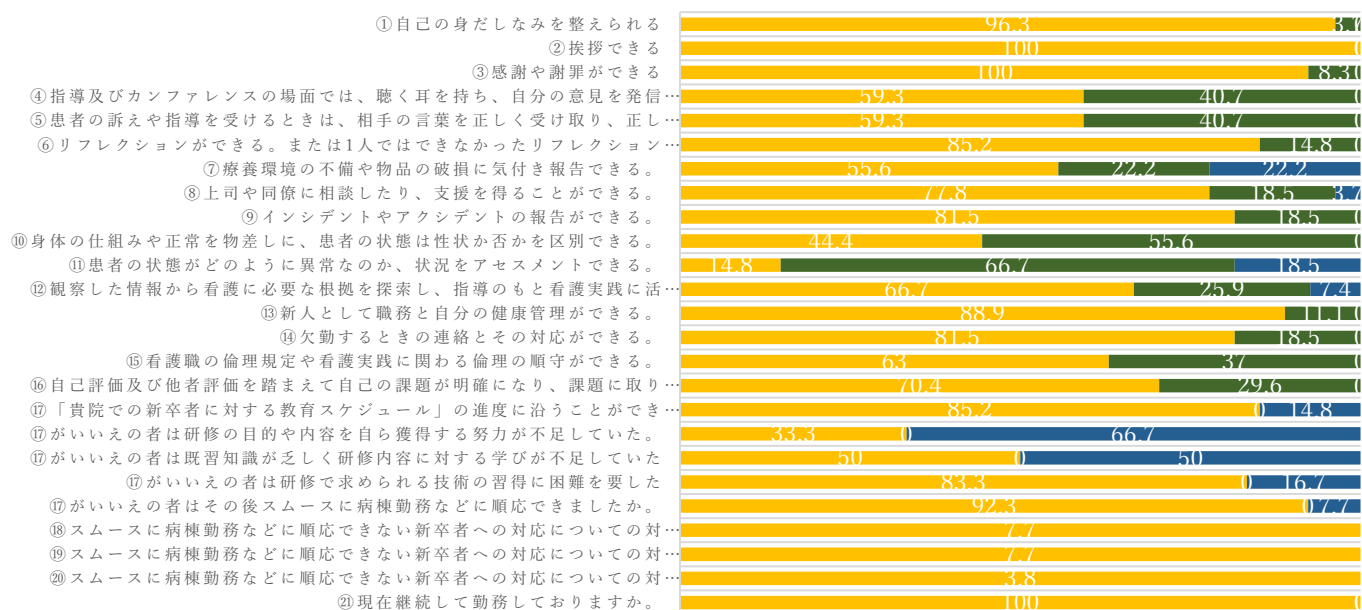


<卒業生の状況に関するアンケート>

3年間の当校の教育を終えた卒業生の状況を調査しました。回答の選択肢は偏り誘導した質問を避けるために、「はい」「どちらともいえない」「いいえ」の3段階としました。

アンケート結果をみますと、対応する力に関連する項目や専門職業人及び勤務姿勢は80~100%のプラス回答であり、例年同様の高得点です。また、単独で実施できるレベルの看護技術は、就職直後の4月の時点では評価が低かった技術も、半年後の9月には90%以上プラス回答となり、臨地実習での学びが反映しています。しかし知識の獲得に関連したアセスメントできる能力は、今回の卒業生も低く在学中の学びが臨床判断能力につながりにくいことが考えられます。そのためこの能力を今まで以上に習得できることを目標に、“思考する力”“判断する力”“決断力”“コミュニケーション能力”などに連動できるような授業や臨地実習方略を検討しています。

卒業生の状況に関するアンケート結果



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ